

岡山県西栗倉村の概要

概要

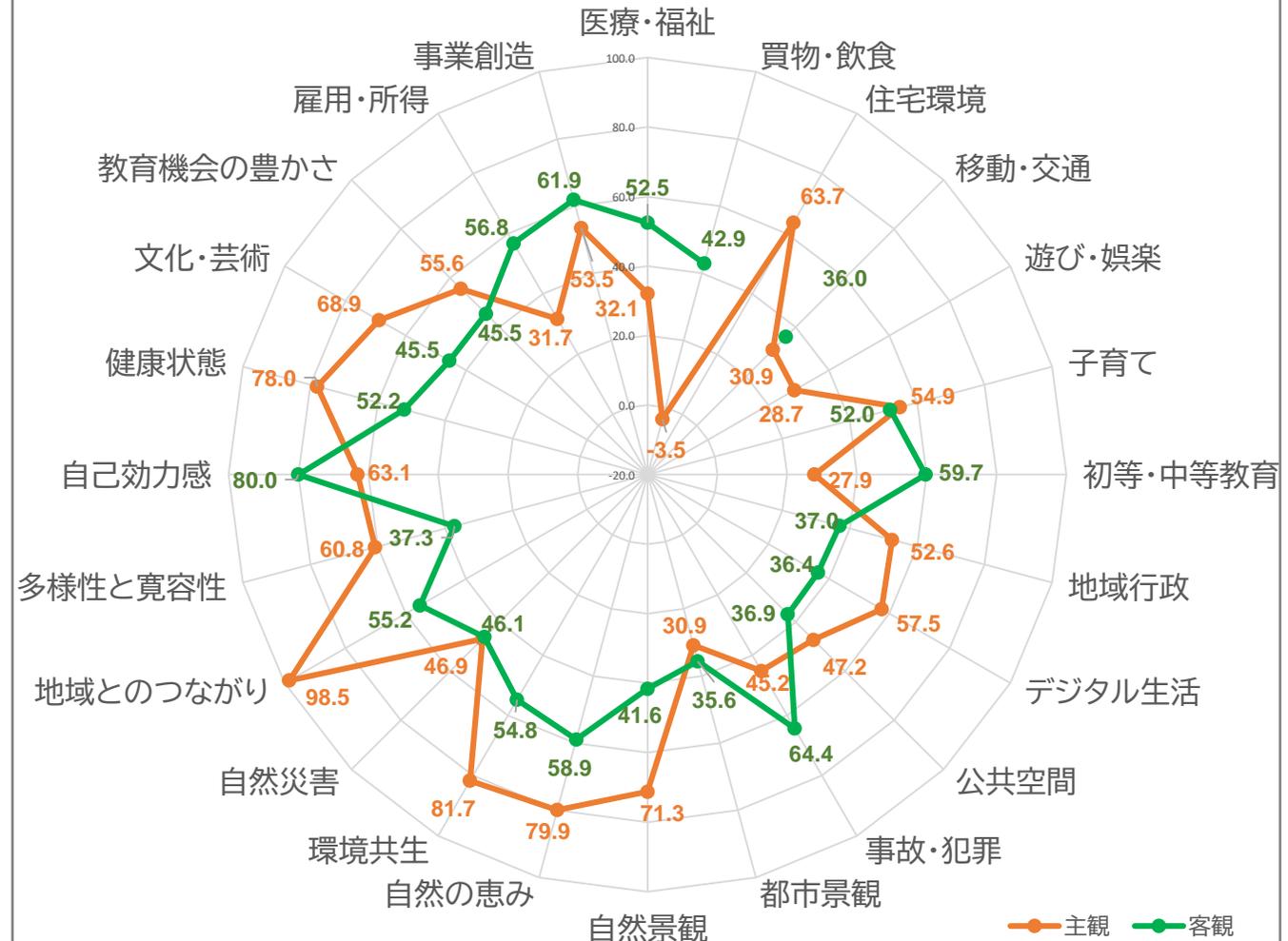
人口	1,333人	高齢化率	36.4%
可住地人口密度	466人/km2	昼夜間人口比率	91.5%
村の特徴・ 周辺地域との 関わり	『百年の森林構想』を掲げ、林業を中心とした“しごとづくり”から始まった取り組みが、「ローカルベンチャー」という枠組みに広がり、移住者を呼び込むようになってきている。鳥取道や智頭急行などの公共交通網により、岡山県北だけでなく鳥取県東部や兵庫県西播磨地方も生活圏域となっている。		
将来都市像	生きるを楽しむ百年の森林に囲まれた村 (第6次総合振興計画より)		

サマリー

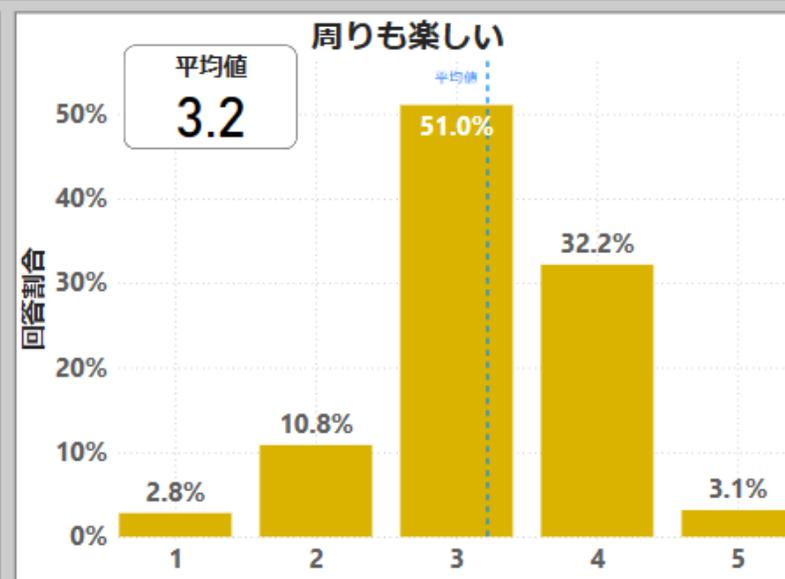
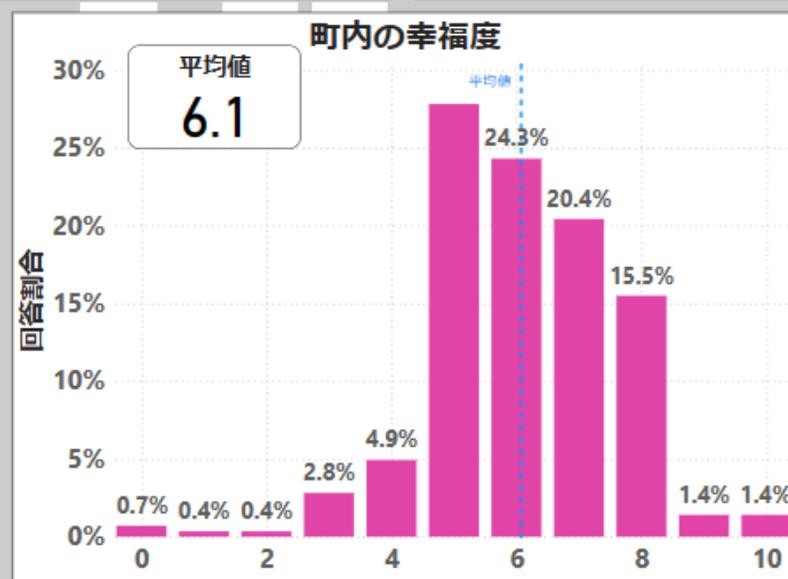
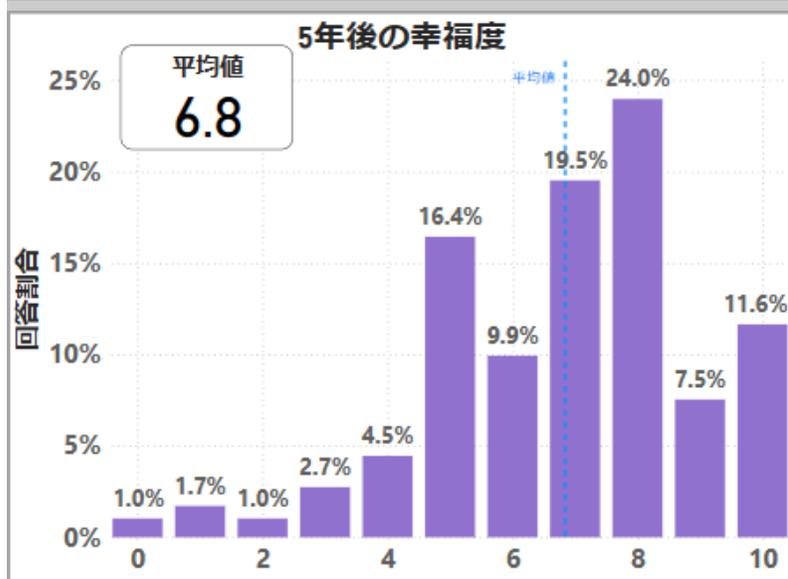
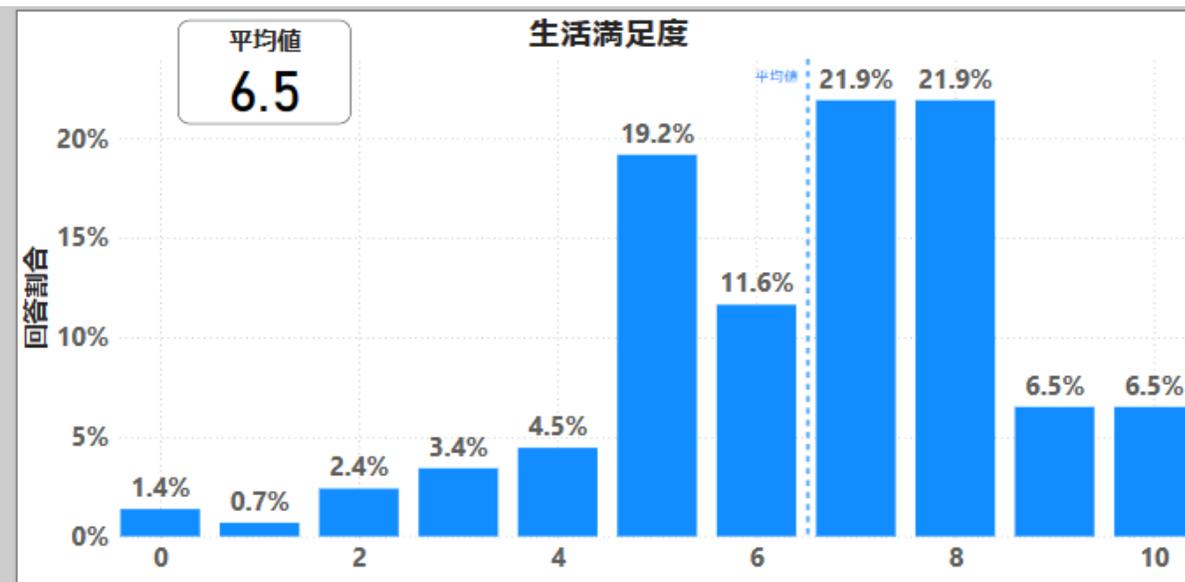
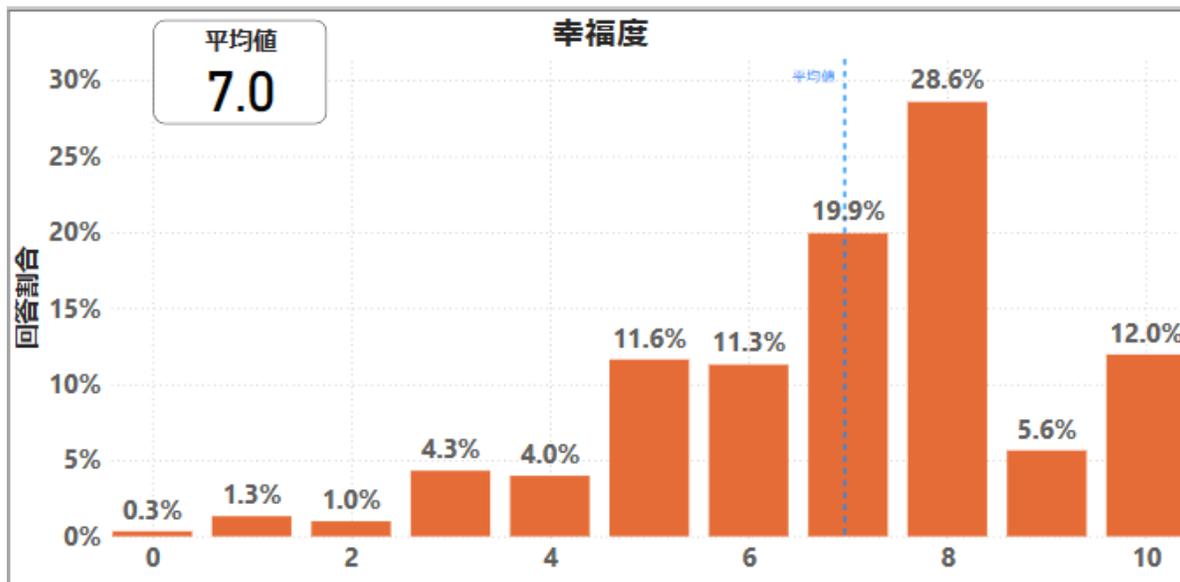
- 全体として客観指標より主観指標の方が数値が高いカテゴリが多いことから、村民の幸福感(ウェルビーイングな暮らしをしているという思い)が強いと考えられます。
- 幸福度得点は7点を超え、全国平均よりも高くなっています。
- 主観指標で最も高い「地域とのつながり」は、明治以来合併をせずにその形を保ってきた西栗倉村の一人ひとりのつながりの強さが表れています。また、「自然の恵み」や「環境共生」カテゴリは、自然豊かな源流の村でSDGs未来都市でもある村の強みが表れている結果と言えます。
- 近年注目されている「ローカルベンチャー」の村づくりは、事業創造や雇用所得の値の高さに表れています。

カテゴリ別グラフ

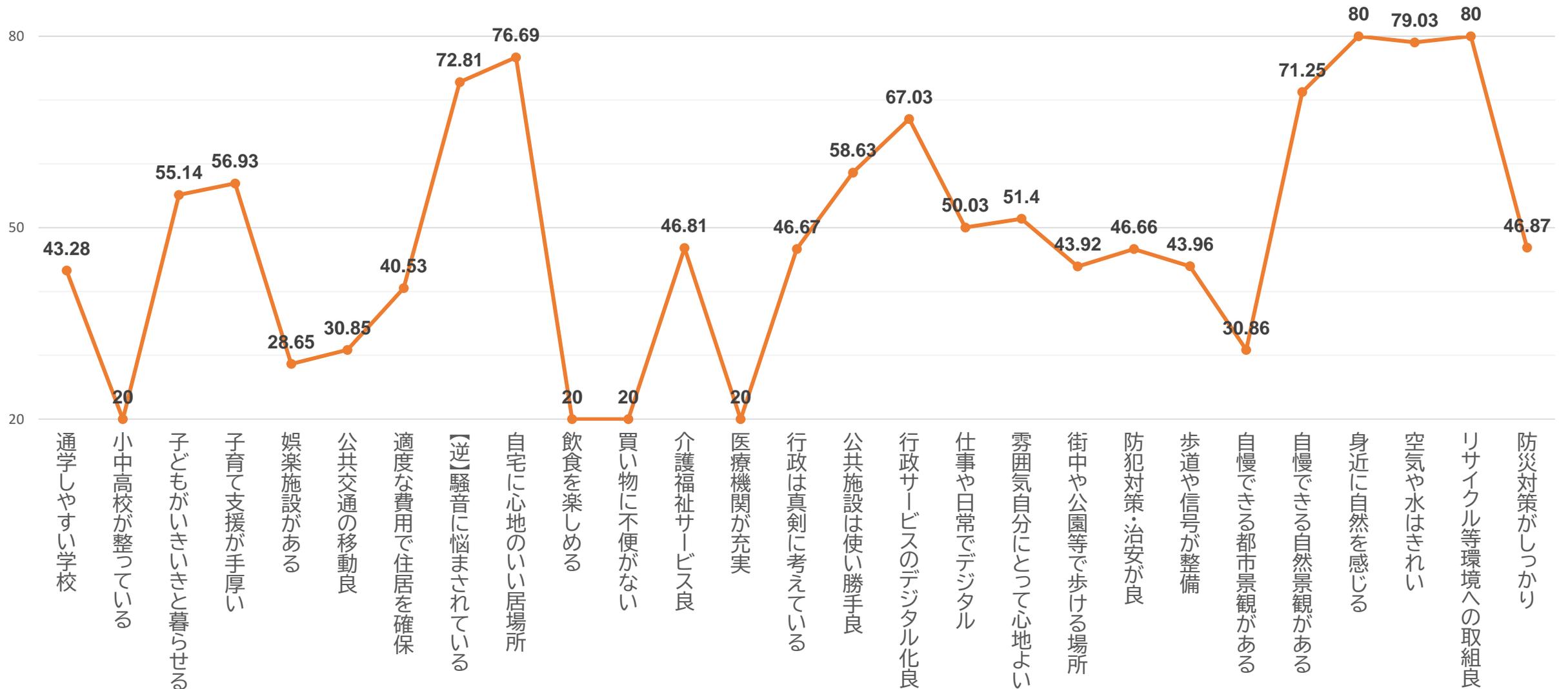
※客観指標を構成する統計の集計範囲の制約上、村レベルでは算出できないものがある。



西粟倉村民の幸福度・生活満足度

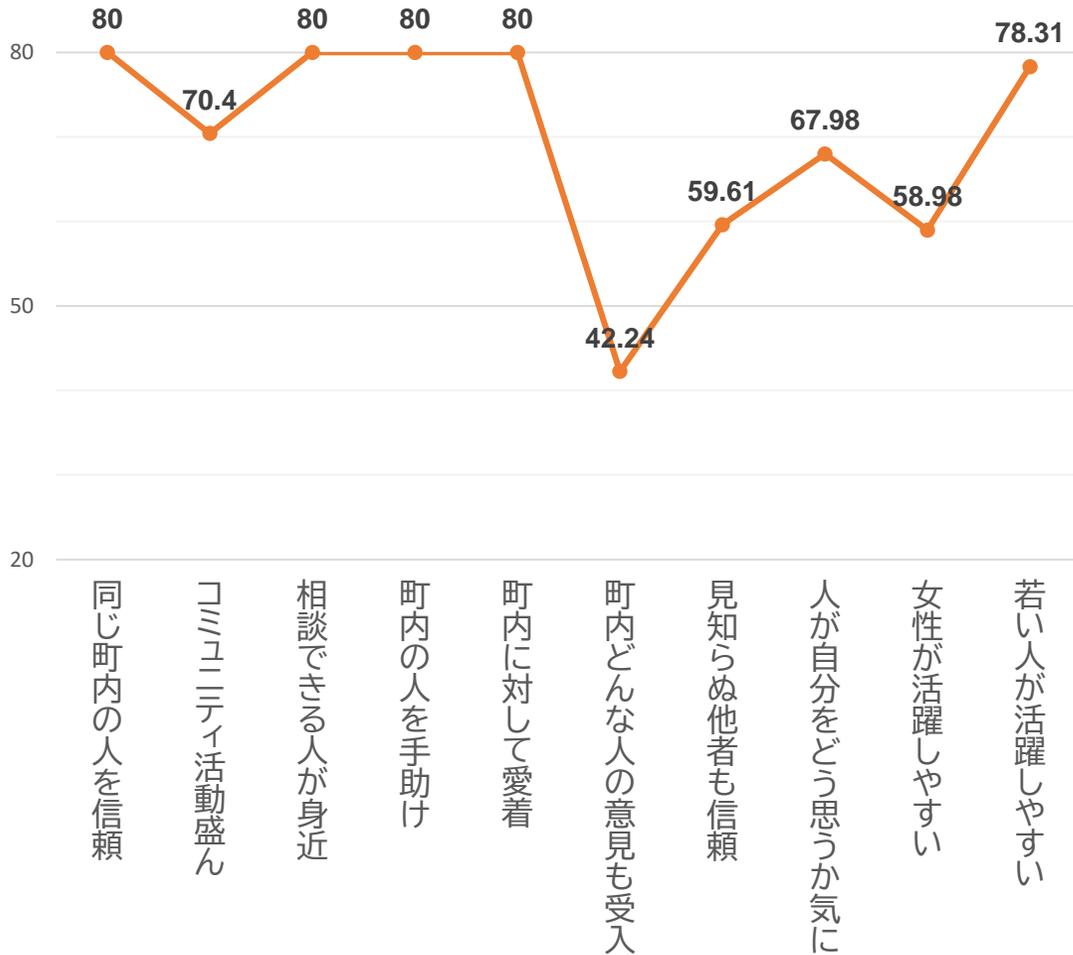


【主観指標 1】西粟倉村の生活環境

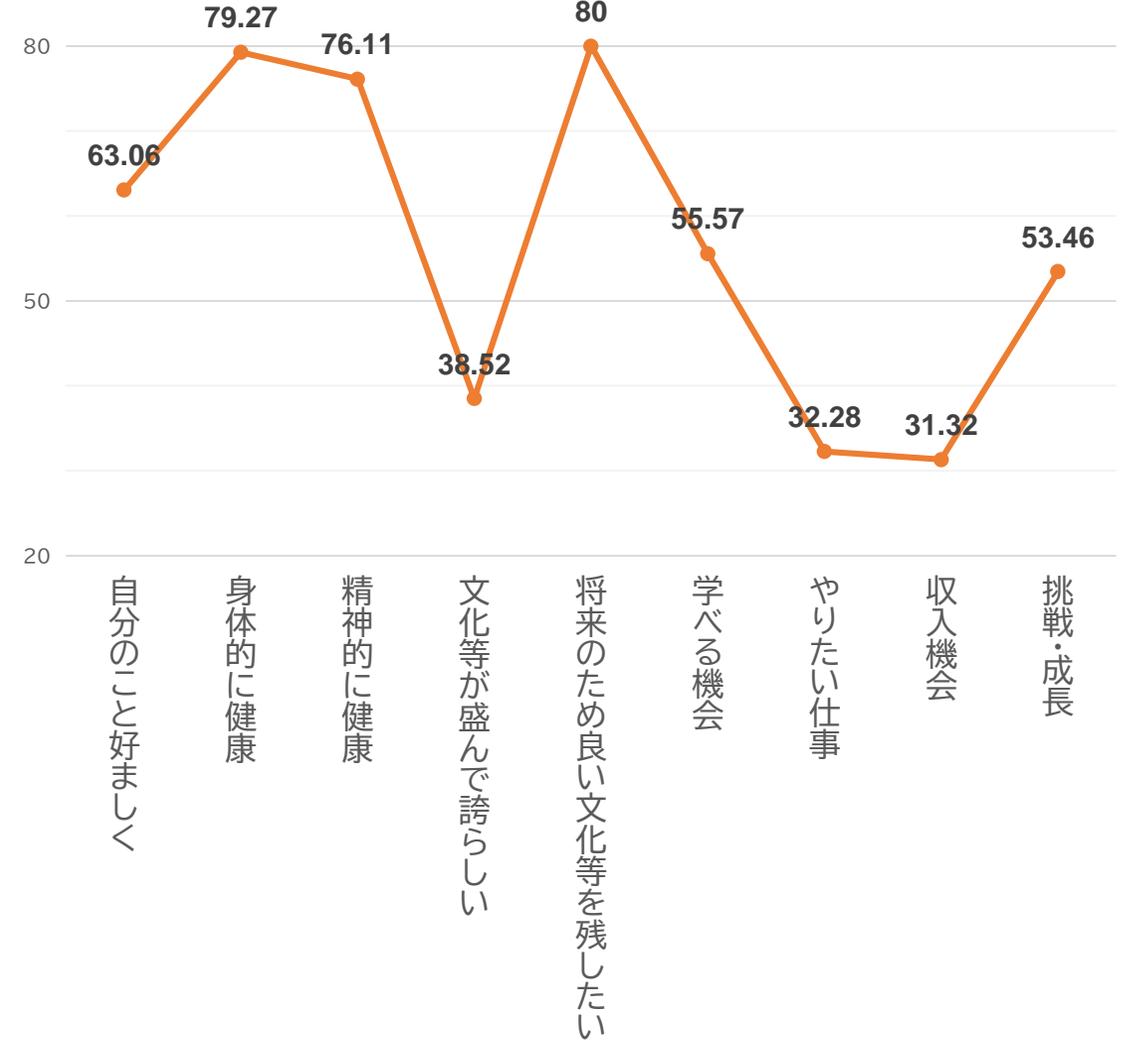


【主観指標 2】西粟倉村の地域の人間関係・自分らしい生き方

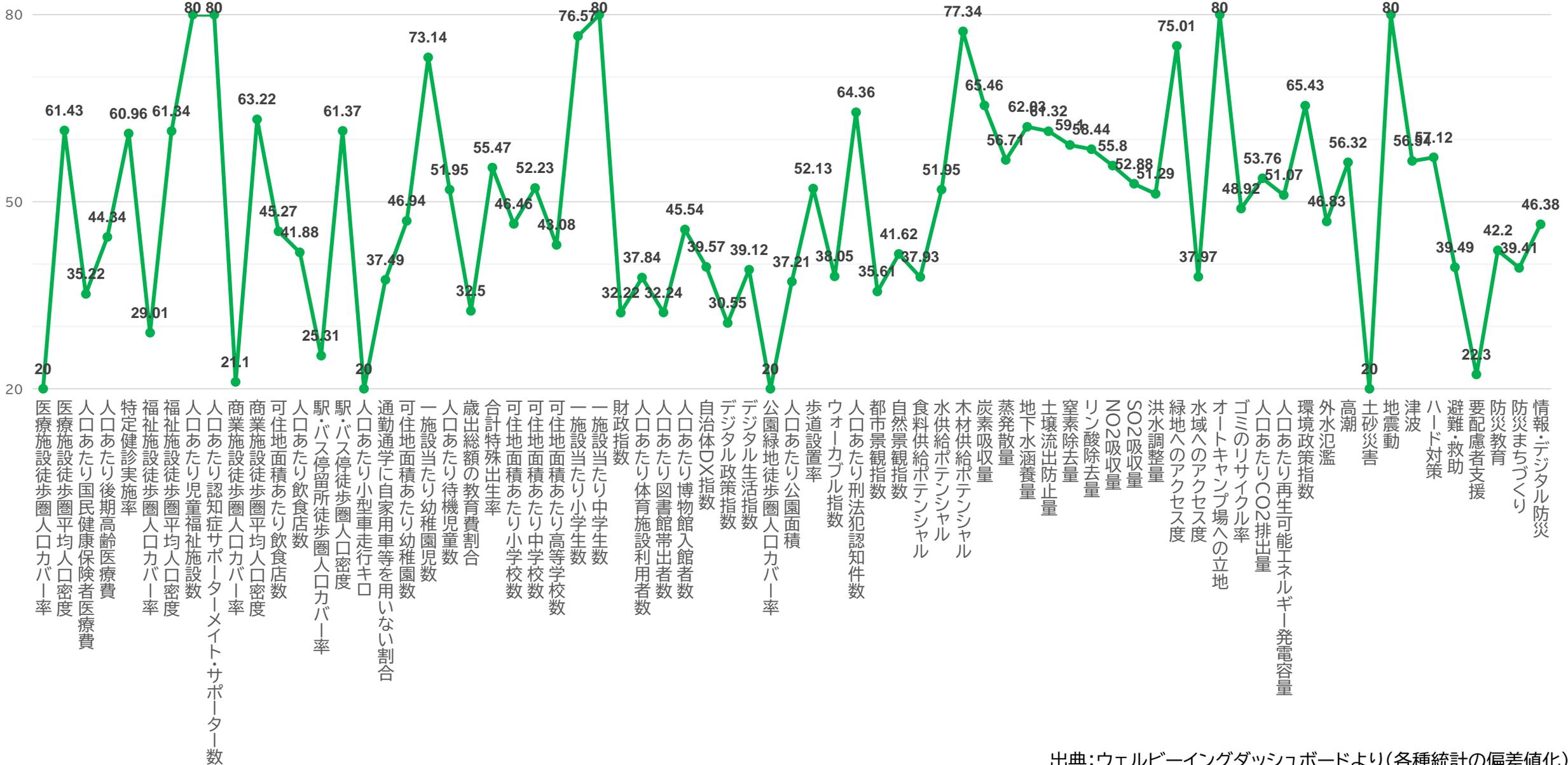
【地域の人間関係】



【自分らしい生き方】



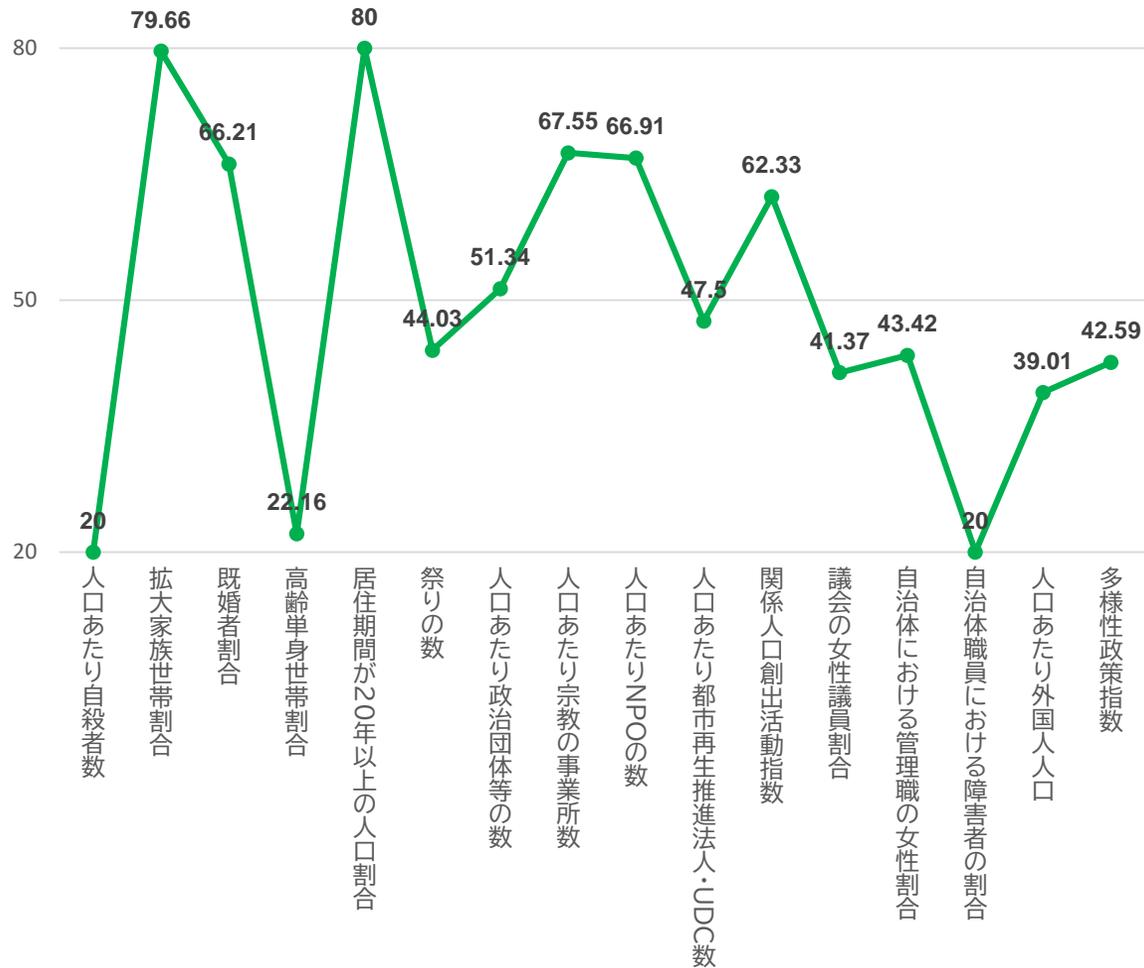
【客観指標 1】西粟倉村の生活環境



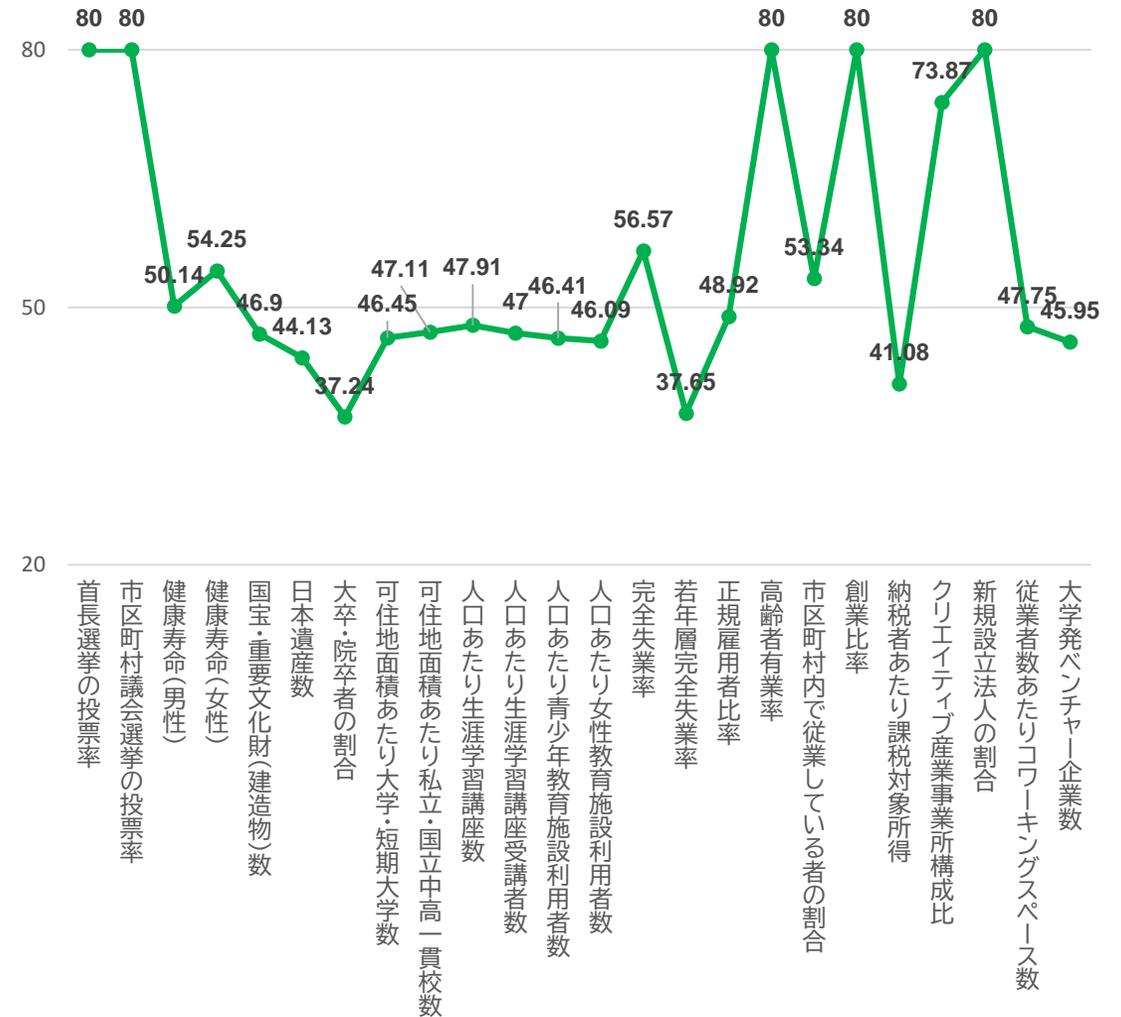
出典:ウェルビーイングダッシュボードより(各種統計の偏差値化)

【客観指標 2】西粟倉村の地域の人間関係・自分らしい生き方

【地域の人間関係】



【自分らしい生き方】



幸福度に関するSWOT分析

	T(脅威)	O(機会)
S(強み)	<p>多様性と寛容性 自然景観 文化・芸術 教育機会の豊かさ 地域行政 デジタル生活</p> <p>ここに挙げた項目は、村民の意識としては評価が高い一方で、実態指標(各種統計上の客観データ)としては、全国平均以下の項目であります。 自分たちの強みを生かしつつも、文化・芸術教育機会などは、周辺地域等との連携を図ること、多様性と寛容性は昨今の権利意識の高まりを学ぶこと、デジタル生活は行政・民間それぞれが、サービスを活用できるようにしていくことなどで、村民のウェルビーイング向上につながると考えられます。</p>	<p>自然の恵み 環境共生 自己効力感 健康状態 事業創造 子育て 地域とのつながり</p> <p>ここに挙げた項目は、村民の意識・実態指標ともに全国平均以上の項目で、自他ともに認める“村の強み”であります。 「水と空気が美味しい」と村民がアンケート結果においてもとても高く評価をしている部分が、自然の恵みや環境共生の指標ともつながっています。また、「事業創造」の部分がこの群に入っていることは、ローカルベンチャー発祥の地として、これまでの活動の成果と評価することができると考えます。子育て・地域とのつながりといった顔が見える関係性の地域コミュニティもこの村の強みと言えます。</p>
W(弱み)	<p>買物・飲食 移動・交通 自然災害 公共空間 都市景観</p> <p>ここに挙げた項目は、村民の意識・実態指標ともに全国平均以下の項目で、外から見ても感じられる“村の弱み”という部分です。 買物・飲食や移動・交通については、日々の生活と切り離せない部分であるため、一人ひとりの不便さの積み重ねが表れていると思われます。自然災害のように、土砂災害等への対応も範囲が広いことから村の弱みとなっています。他方、公共空間や都市景観といった指標は、大都市圏を中心としたこの分析軸では、この象限に位置付けられるのはやむを得ないものがあります。</p>	<p>雇用・所得 医療・福祉 初等・中等教育 事故・犯罪</p> <p>ここに挙げた項目は、村民の意識としては評価が低い一方で、実態指標としては、全国平均以上の項目であります。村民の想いとは異なり“意外に頑張ってる”部分といえます。 雇用・所得がこの群にあるのは、上にある「事業創造」との関連で統計に表れているということが分かります。また、福祉や学校教育といった生活は、小規模自治体の強みがここにあらわれていると考えることができます。また事故犯罪の低さは地域とのつながりと関連があると思われる部分です。</p>